記者ゼミ IT 講座 2020/3/14 13:00-17:00

1. ねらい

地理情報システム(GIS)の報道利用の具体例を紹介するとともに、QGIS などを使った地理空間情報の分析の基本やデータ加工の考え方を紹介する。

国土地理院: https://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html

GIS 実習オープン教材: https://gis-oer.github.io/gitbook/book/

2. GIS の報道利用の具体例(13:00-14:00)

多摩川沿い なぜ"浸水エリア"に新築が… 徹底分析しました (NHK NEWS WEB NewsUp2019/12/3)

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191203/k10012200031000.html

NHK 報道局 社会部 今村 清人 記者

南海トラフ地震 津波浸水想定エリアで起きていること

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200302/k10012309571000.html

NHK 報道局 社会部 齋藤 恵二郎 記者

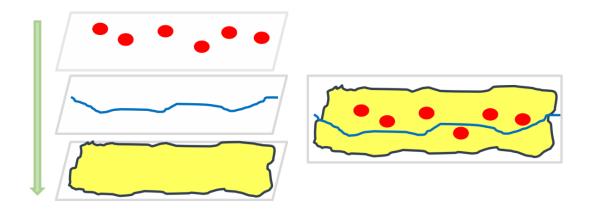
3. GIS の基本と利点(14:00-15:00)

- ※ **地理空間情報**:空間上の特定の地点又は区域の位置を示す情報(位置情報)とそれに関連付けられた様々な事象に関する情報、もしくは位置情報のみからなる情報をいう。
 - (例) 土地利用図、地質図、ハザードマップ等の主題図、都市計画図、地形図、地名情報、統計情報、空中写真、衛星画像等
- ※ 地理情報システム (GIS: Geographic Information System): コンピューターを用いて、地理空間情報 (地理空間データ) を、可視化、作成、編集、検索、分析するシステム。

Ж.

- ※ 地物(Feature): 道路、河川、建物、境界、線路など、地球上にあるすべてのものを示す概念。
- ※ GIS ではデータ (レイヤ) を重ね合わせて地物を表現する。

https://gis-oer.github.io/gitbook/book/materials/00/00.html



- ※ 地理情報システムの活用例
- 1. 最短経路や特定の領域の算出
- 2. 建物等の分布密度の可視化
- 3. 古地図の位置あわせ
- 4. 環境変化の可視化と面積計算
- 5. 標高データから地形情報を算出、可視化

https://gis-

oer.github.io/gitbook/book/materials/00/00.html#%E5%9C%B0%E7%90%86%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E3%81%A8%E3%81%AF

4. QGIS による地理空間情報分析の基本(15:00-16:00)

1. QGISとは

- ※ 無償で利用できるオープンソースの GIS。
- ※ Windows, Mac, Linux, Unix, Android などの環境で動作。さまざまなプラグインや、GRASS やPostGIS など他のオープンソース GIS と連携して使用することで、多種類の分析が可能。
- ※ GIS の基本操作に必要な機能を網羅しているだけでなく、Web 上に多数のマニュアルがアップロードされているため、学習がしやすい。
- ※ データ形式:ベクターとラスタ ベクター データとは (esri ジャパン)

https://www.esrij.com/gis-guide/gis-datamodel/vector-data/

ラスタ データとは (esri ジャパン)

https://www.esrij.com/gis-guide/gis-datamodel/raster-data/

2. 実習

多摩川水系の浸水想定区域データ(国土数値情報)と国勢調査の500mメッシュデータ(e-Stat)を重ね合わせることで、浸水想定区域の浸水深ごとの人口推移を分析する。

- 1. 多摩川水系の浸水想定区域データ(5段階浸水深)
 - →地図 (shp) の追加

(データ1: Data/Result/Shinsui/多摩川水系の浸水想定区域データ.shp)

- 2. 国勢調査の500mメッシュデータ(1995-2015の総人口)
 - →プロパティの使い方

(データ2: Data/Result/Pop/多摩川水系を包含する国勢調査のメッシュデータ.shp)

- 3. 1と2を交差(Intersect)して面積按分することで、浸水深ごとの人口データを取得
 - →面積計算など(フィールド計算機)

「NA-GIS104]フィールド計算機を使う

https://na-mii.com/gis/na_gis104/

(データ3: Data/Result/Before_Anbun/交差データ 面積按分計算前.shp)

(データ4: Data/Result/After_Anbun/交差データ 面先按分計算後.shp)

- 4. 浸水想定区域の人口推移を地図上に可視化して傾向を分析
 - →QGIS 操作の基本
- 5. 地理院タイル地図を重ねることで、人口増加地域の土地履歴を分析
 - →タイル地図のインポート

朝日航洋:地図タイルの活用について

https://www.aeroasahi.co.jp/qgis/post/2019/10/qgis_tile/

(データ5: Data/Result/Image/武蔵小杉と二子玉川.png)

6. 浸水深ごとの人口推移をグラフに可視化して傾向を分析

→CSV へのエクスポート

QGIS でラインをポイントに変換してxy座標を取り出す

https://qiita.com/ishiijunpei/items/a90385cca43ddcb91428

(データ6: Data/Result/Tamagawa_CSV/エクセルデータ.xlsx .csv)

地図で見る統計(統計 GIS)e-Stat: https://www.e-stat.go.jp/gis

国土数値情報: http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/

地理院タイル一覧(国土地理院): https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html

5. 分析のためのデータ整形の方法とツール(16:00-17:00)

1. 国勢調査の500mメッシュデータの整形(メッシュコード:5339)

(Row Data)

·1995~2015の4次メッシュ(500mメッシュ)データ

(データ7: Data/Raw/Tokyo Pop/テキストデータ.txt)

(データ8: Data/Raw/Kanagawa_Pop/テキストデータ.txt)

1995~2010:男女別人口総数及び世帯総数

2015:人口等基本集計に関する事項

https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&toukeiCode=00200521

・4 次メッシュ (500 mメッシュ) 境界データ

https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=2&aggregateUnitForBoundary=H

※ 地域メッシュ統計について(総務省統計局): https://www.stat.go.jp/data/mesh/m_tuite.html

(データ9: Data/Raw/Tokyo_Mesh/境界データ.shp)

(データ 10: Data/Raw/Kanagawa_Mesh/境界データ.shp)

- (1) 神奈川県と東京都の Row Data をダウンロード
 - ★定義書も一緒にダウンロードすること(重要!)
 - ・国勢調査500m: テキストデータ (.txt)
 - ·境界データ500m(.shp)
 - ・メッシュごとのファイル数:15

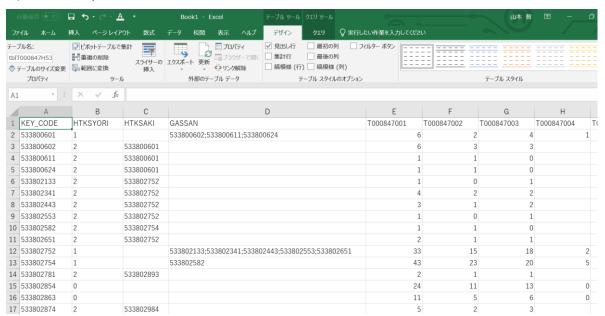
神奈川: 4×(境界1+国勢(各年)4)東京:11×(境界1+国勢(各年)4)

→6 0ファイル

- (2) 表(Dataframe)を作成する
 - ・1 行目 (code) と2 行目 (日本語) →1 行目をヘッダーにする
 - ・データ型を揃える→KEY CODE などはテキスト(Text)に、人口は整数(Integer)に変換
 - ・境界データはシェープファイルなので、QGIS に読み込んで CSV ファイルでエクスポート
 - →テキスト (CSV) のエクセルへの読み込み

(テキストデータ)

(エクセルデータ)



- (3) 境界データに対して各年の国勢調査データを KEY CODE を Key にして結合
 →エクセルの場合は VLookup 関数を使う
- (4) 総人口のカラム(列)だけ抽出
 - $\cdot "T000752001", "T000386001", "T000387001", "T000609001", "T000847001"$
 - ・N/A (No Data) の部分を 0 (ゼロ) に置換
- (5) 結合したデータの測地系を平面直角座標系に変換する
 - →OGIS に読み込んで変換
 - ・多摩川の場合は、Japan Plane Rectangular CS IX (EPSG:2451)
- (6) 東京と神奈川のメッシュごとに以上の手順を15回繰り返す。

(データ 11: Data/Working/Kanagawa_MeshPop/各 ID メッシュ人口データ.shp) (データ 12: Data/Working/Tokyo_MeshPop/各 ID メッシュ人口データ.shp)

(7) メッシュコード: 5 3 3 9を採用(多摩川浸水想定区域を包含)

日本の測地系(国土地理院): https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html

世界測地系(国土地理院): https://www.gsi.go.jp/KIDS/KIDS13.html
JGD 座標系と EPSG の一覧表: https://blog.godo-tys.jp/2012/11/21/999/

2. 多摩川水系の浸水想定区域データ(5段階浸水深)の整形

(Row Data)

・浸水想定区域データ(都道府県ごと)(国土数値情報)

http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/

(1) 神奈川県と東京都の Row Data をダウンロード

定義書も一緒にダウンロードすること(重要!)

- ・シェープファイル(.shp)
- ・属性ファイルフォルダの**テキストデータ**に"対象となる洪水予報河川"のデータが格納ファイル数:神奈川(31)東京(11)
- ·各テキスト名に番号が付与され、シェープファイルの属性テーブルに記述(A31_006)

(データ11: Data/Raw/Kanagawa_Tamagawa/多摩川浸水(東京).shp) (データ12: Data/Raw/Tokyo_Tamagawa/多摩川浸水(神奈川).shp)

- (2) 属性ファイル内のテキストデータを 1つずつ開き、"多摩川"の文字を検索して、番号を抽出
- (3) シェープファイルの属性テーブルで"多摩川"の文字がある番号のデータだけ抽出
- (4) 浸水深データを整形 (A31 001)
 - ・地方整備局は7段階
 - ・自治体は5段階
 - $\cdot 21 \rightarrow 11 \cdot 22 \rightarrow 12 \cdot 23 \rightarrow 13 \cdot 24 \rightarrow 14 \cdot 25, 26.27 \rightarrow 15$

- (5) 結合したデータの測地系を平面直角座標系に変換する
 - →QGIS に読み込んで変換
 - ・多摩川の場合は、Japan Plane Rectangular CS IX (EPSG:2451)
- (6) 東京都と神奈川県の浸水想定区域データを結合

(データ13: Data/Working/Tokyo_Tamagawa/多摩川浸水(東京).shp)(データ14: Data/Working/Kanagawa_Tamagawa/多摩川浸水(神奈川).shp)

3. データ整形

(1) ユニークな分析をするためにはデータの整形(Data cleansing)が必要

(データ分析の80%は整形作業に費やされる)

- (2) Raw Data の定義書をよく読むことが必要
- (3) 整形のロジックを考えることが必要
- (4) 大量のデータ洗浄はプログラムでの自動化が必要(R Python)

Tamagawa_Notebook ファイルに、Python を使ったデータ整形プログラム(Jupyter notebook)が入っています。